

2021(R03).05.08

## 関東大会県予選の準決勝は14-21で合同Bに敗れる

5月8日(土)水戸市ツインフィールドにおいて、関東高校ラグビー大会県予選の準決勝が行われ、日立一高は14-21(前半14-14、後半0-7)で合同B(水戸一、勝田、水城)に敗れ、6大会連続の決勝進出はなりませんでした。

(県内の公式戦で茗溪学園以外に負けたのは、平成30年秋の全国大会予選で清真学園に敗れて以来2年半ぶり。一方、合同チームが決勝進出するのは初のケースと思われます。)

合同Bは、準々決勝で勝田工を35-12で破っており、早くて強いランナーがいるなど侮れない相手だとは思っていましたが、まさかの敗戦でした。

無観客で行われ、試合の情報も十分には入ってきませんが、レフリーとのコミュニケーションがうまくとれず、FWが圧倒しながらも、リモールでのオブストラクションやノットリリースなどの反則を連発し、シンビンなどもあり攻めきれなかったようです。また、動画を観たOBの感想では、合同Bのディフェンスも素晴らしかったようです。

「負けに不思議の負けなし」と言います。今回の敗戦を深く掘り下げ、次の3位決定戦や秋シーズンに反映させてほしいと思います。

関東高校大会県予選	
ラグビー	
(水戸市ツインフィールド)	
▽5位決定トーナメント1回戦	
合同A	不戦勝 東洋大牛
勝田工	94-0 合同C
45-0	
▽準決勝	
茗溪学園	109-0 つくば秀
52-0	英
合同B	21-14 日立一
7-0	
※合同Aは磯原郷英・太田一・下館工・下館一、合同Bは水戸一・勝田・水城、合同Cは土浦工・土浦一・取手一・つくば国際・東風・守谷	